

目次

はしがき

序章 若者支援とソーシャルワーク

- 1 1990年代以降の若者研究・若者支援研究の系譜 2
- 2 社会福祉における「若者」の取り扱い 12
- 3 ユースワークとの関係 26
- 4 本研究の問いと用語 29
- 5 調査内容 38
- 6 本研究の構成 39

第I部 ソーシャルワークの対象としての「若者」

第1章 社会問題としての若者問題

- 1 若者が経験している生活困難 50
- 2 若者の生活困難を捉える視点 62
- 3 若者の「稼働能力」と「扶養家族」 76
- 4 若者問題の現代性 83

第2章 社会福祉の法・制度における若者の対象範囲と課題

- 1 社会福祉の法制度における若者 97
- 2 発達障害者・精神障害者への支援 98
- 3 貧困者への支援 101
- 4 児童への支援 107
- 5 社会福祉法・政策が若者を対象とするために 110

第3章 若者支援政策の対象範囲と変遷

- 1 若者支援政策・実践における対象範囲と課題 116
- 2 第一期―若者の生活困難の発見と実践（1980年代後半～2002年） 119
- 3 第二期―若者の就労支援の民間委託事業展開（2003～2008年） 124
- 4 第三期―ワンストップ窓口とネットワークへの期待（2009年以降） 130
- 5 若者支援政策の課題 134

第II部 若者ソーシャルワークの要点

第4章 若者ソーシャルワークの三局面―社会福祉法人一麦会の事例から

- 1 若者ソーシャルワークを検討する視点 141
- 2 「若者」を対象とした麦の郷の歩み 149

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 3 | 麦の郷での取り組み | 157 |
| 4 | 創の活動に参加する若者 | 171 |
| 5 | 創で実践される若者ソーシャルワーク | 175 |

第5章 韓国の若者支援における法制度と事業

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 韓国における若者問題 | 186 |
| 2 | 韓国の青少年福祉に関する法・制度 | 187 |
| 3 | 青少年福祉支援法事業の取り組み事例 | 193 |
| 4 | 韓国の事例からの示唆 | 198 |

終章 若者ソーシャルワークという実践

| | | |
|---|----------------|-----|
| 1 | 若者ソーシャルワークの必要性 | 204 |
| 2 | 若者ソーシャルワークの要点 | 209 |
| 3 | 求められる政策 | 220 |
| 4 | 本研究の限界と今後の課題 | 225 |

あとがき

参考・引用文献